

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（実施状況及び効果検証）

No.	事業名	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容	事業始期	事業終期	決算額	交付金充当額	事業実績	事業効果	担当課
1	マスク購入整備事業	①肺炎になると重症化する可能性が高い方・社会福祉施設・医療機関等へマスクを配布し、新型コロナウイルス感染症拡大を予防。 ②消耗品費	R2.5.11	R2.6.25	10,626,000	10,626,000	サージカルマスク 230,000枚	肺炎になると重症化する可能性が高い方や社会福祉施設・医療機関の従事者、併せて保育所児童・小学生にマスクを配布することにより、新型コロナウイルス感染防止対策に寄与した。	防災安全課
3	防災活動支援事業	①有事の際の避難所における感染対策に、避難所間仕切りを整備。 ②備品購入費	R2.9.2	R3.1.13	1,684,375	1,684,000	ファミリールーム 70張	新型コロナウイルス感染下の災害対応に備え、予防対策備品として整備し、避難所等を開設した際の感染防止態勢を整えることができた。	防災安全課
4	防災活動支援事業（保健センター主管）	①大規模災害等で救護所となる施設の感染拡大防止を図るため、自動消毒液噴射供給機やクリーンパーテーション等の備品を整備。 ②消耗品費・備品購入費	R2.7.21	R2.12.24	3,584,663	3,584,000	救護所での感染拡大防止を図るため、自動消毒液噴射供給機やクリーンパーテーション等を整備した。	自然災害が頻発するなか、新型コロナウイルス感染症等に対応した救護所運営を行うことを目的に、感染対策物品等を整備し、危機管理の充実を図ることができた。	保健センター
5	学校の臨時休校に伴う学習等への支援事業	①学校の臨時休校に伴う学習等への支援として、市内小中学生を対象に各学年の教科書に準拠した問題集を配布。 ②教育材料費	R2.5.11	R2.6.8	9,318,144	9,318,000	市内小中学生全員に各学年の各教科の問題集を購入し、配布した。	臨時休校の際に家庭学習において問題集を活用することにより、子供たちの学習の保障に寄与した。	教育総務課
7	感染症対策事業	①救急における隊員の新型コロナウイルス感染防止のため、オゾンガス発生装置・感染防止衣・オゾン水発生装置を整備。 ②消耗品費・備品購入費	R2.7.9	R2.12.14	2,603,700	2,603,000	・オゾンガス発生装置 車載用 2台 642,000円（備品購入費） 庁舎用 2台 513,000円（備品購入費） ・オゾン水発生装置 1台 722,700円（備品購入費） ・感染防止衣 300着 726,000円（消耗品費）	救急利用者、救急隊員等への2次感染を防止するとともに、救急車を安心してご利用いただけるための感染症予防対策が図れた。	消防本部
8	図書館パワーアップ事業	①外出自粛等により、自宅での生活が余儀なくされる中、図書館の貸し出し内容を充実させることにより、生活の質の向上を図った。 ②図書・備品購入費	R2.6.29	R3.3.31	5,616,271	5,616,000	備品購入費420,437円（内訳 回転書架3台 362,010円 大型絵本棚2台 58,427円）図書購入費 5,195,834円（内訳児童図書1,035冊 1,598,988円 視聴覚資料 3,596,840円 DVD259点 CD188点	図書館の児童図書等を充実させることにより児童の接触機会の軽減、外出困難時の学習環境の向上に寄与した。	図書館
9	ご当地カルタ「有田市たからもんカルタ」配布事業	①市内小学校1年生を対象に、学校の臨時休校に伴う学習等への支援事業としてご当地カルタ「有田えもんかるた」を配布し、家庭内でカルタを行うことで、国語学習や郷土学習の機会を作り、併せて家族で過ごす時間が長くなっていることから、家族で楽しめる時間を創出。 ②印刷費	R2.9.1	R2.11.6	282,000	282,000	NPO法人（企画デザイン）との協働によるご当地カルタを制作。市内小学1年生180人に配付。	入学当初から臨時休校や分散登校、行事の中止、学校での新たな生活スタイルへの対応などで、特に影響の大きい市内小学1年生を対象にご当地カルタを配布。家庭内において国語学習や郷土学習を支援するとともに、家で長時間過ごすことが増加した家族が楽しんで過ごせる機会づくりに寄与した。	福祉課
10	感染拡大防止のための啓発絵本制作事業	①感染防止のための手洗いに関する就学前児童向け絵本を制作し、図書館等公共施設へ配置することで、小さな子どもへの感染防止の啓発を図った。制作した絵本は、地域特有の表現などを活用することで生活実態に近いものとし、子どもたちがより親しみを持つように工夫。感染防止に対しては、市立病院感染管理認定看護師が監修を実施。 ②印刷費・デザイン料	R2.8.8	R3.3.17	1,054,480	1,054,000	3歳未満向け絵本 50冊 3歳以上向け絵本 50冊 計2種100冊制作 市内の保育所・幼稚園・支援センター・児童館・図書館等に配付。	地域の特色を取り入れ、馴染みがあり分かり易い題材により、手洗いを習慣化するための絵本を制作。日常的な生活の中で、感染対策の必要性、手洗いの大切さを小さな子どもたちに効果的に伝え、感染予防に寄与できた。	福祉課
11	ポケットSOS事業	①感染予防の基礎知識や食事や運動などの健康づくり方法を記した折り畳み式マニュアル（リーフレット）を作成。 ②印刷費	R3.1.20	R3.3.11	299,000	299,000	「みんなの笑顔のための予防ガイドブック」と題するリーフレットを11,000部作成し、市内の各家庭に配布した。	コロナウイルス対策や感染防止の基本、相談方法、運動、食事等を周知することで、感染予防対策を図るとともに市民の健康づくりに寄与することができた。	保健センター
13	飲食業新業態支援補助金・飲食業新業態基盤構築補助金	①今般の新型コロナウイルス感染症により店内の飲食ができない中、デリバリーやテイクアウト事業の新規立ち上げ、事業拡大に取り組む事業者を支援。 ②補助金	R2.6.16	R3.3.31	3,534,000	3,534,000	申請者数 21件 補助金額 3,534,000円	店内飲食がメインであった飲食店がデリバリーやテイクアウトを始めるにあたり、この補助金を利用することによってメニューの開発や容器の購入等に利用でき、スムーズな事業展開に寄与した。	産業振興課

14	有田市食事支援給付券事業（小中学生）	①休校措置の長期化に伴う子育て家庭における家計・家事負担が増大していることへの対応と有田市内飲食事業者のデリバリーやテイクアウトの新規立上りや事業拡大に資する需要の創出を連携して行うべく、有田市内の小中学校に通学または市外小中学校へ通う児童・生徒を持つ家庭に1万円のデリバリー・テイクアウト用フードチケット（有田市小中学生食事支援給付券）を配布。 ②フードチケット（交付金）・報酬・交通費・消耗品費・印刷費・通信料・郵便料	R2.5.14	R2.9.16	20,259,880	20,259,000	対象者数 1,968人 交付金額 19,013,000円 事務費 1,246,880円	休校措置の長期化に伴う子育て家庭における家計・家事負担が増大していることへの対応と有田市内飲食事業者のデリバリーやテイクアウトの新規立上りや事業拡大に資する需要の創出を連携して行うべく、有田市内の小中学校に登校する、また、市外小中学校へ通う児童・生徒を持つ家庭に1万円のデリバリー・テイクアウト用フードチケットを配布した。 利用率は96.61%と多くの方にご利用いただき、保護者の経済負担軽減及び市内飲食事業者の支援に寄与した。	産業振興課
16	有田市コロナウイルス対応中小企業支援金	①有田市内に本社を置く法人及び個人事業者に対し中小企業コロナウイルス対応支援金として、国の給付金対象事業に加え令和2年2～4月のいずれかの月で30～80%未満減収となった個人事業主及び法人に対し20万円を給付、80%以上の減収した法人及び個人事業主に対し法人は100万円、個人事業主には50万円を給付。 ②補助金	R2.5.26	R2.8.4	23,994,000	23,994,000	申請合計件数 670件 支援金額 204,078,000円	有田市内に本社を置く法人及び個人事業者に対し中小企業コロナウイルス対応支援金を支給する。 国の給付金対象事業に加え、30%～50%未満減収事業者についても支援金を給付したことで事業継続の下支えに寄与した。	産業振興課
17	健康支援事業	①外出自粛等により、自宅での生活が余儀なくされる中、市民の健康づくりを支援するため、インセンティブ（スマイルポイント）を付与しながら、健康の維持・向上を促進する。 ②印刷費・郵便料・記念品代	R2.7.20	R3.1.18	4,308,138	4,308,000	スマイルポイント事業（参加者） ・第1弾 584人 ・第2弾 916人 ・第3弾 1,323人	外出自粛や休校等で外部との交流が制限されるなか、自宅での健康づくりを促し、市民の健康の維持・向上に寄与することができた。	保健センター
19	ごみ増加対策事業	①不要不急の外出自粛の中、外食の減少及びテイクアウトの増加、資源ごみ回収団体の活動自粛によりリサイクル率が低下し、家庭からのごみ排出量の増加が見込まれる。 ごみ収集業務は業者に委託しているが、現在稼働している車両台数では不足する可能性があるため、委託業者への貸出用として車両を購入することで、増加したごみの収集も滞りなく行うことができる。 また、排出量の増加に伴い、ごみ収集完了までの時間が長くなり、鳥獣による集積所のごみ袋の散乱被害が多くなる。散乱ごみの片づけにはコロナウイルス感染の危険性が伴うが、車両を購入することで、収集完了までの時間が短縮でき、感染のリスクを低減することができる。 ②バックカー（3.5t）購入費・役務費	R2.9.18	R3.3.31	7,195,000	7,195,000	バックカー1台を購入	ごみ排出量の増加によって、収集の遅延やそれに伴う鳥獣による集積所のごみ散乱被害、満載時のバックカー車からのごみの飛び散りが懸念される中、感染リスクの低減と収集体制の維持が図れるよう積載量を増やすことで不測の事態に備えることができた。	生活環境課
22	病院事業会計補出・補助地域の感染状況等を踏まえたきめ細かい医療提供体制等構築事業	①有田圏域（有田市・有田川町・湯浅町・広川町）の中核病院として新型コロナウイルス感染症に対応するため、緊急に必要な医療提供体制等を構築し、感染者もそうでない者も安心した医療が提供できる体制を整備。 ②陰圧装置付き医療用テントやベッドサイドモニター等、発熱者外来等に対応するための整備に要する費用を対象に、有田市立病院事業会計に繰り出し。	R2.11.13	R3.3.19	67,512,000	67,512,000	新型コロナウイルスに対応した地域医療を維持するため、下記のとおり整備を行った。 ・有熱者外来スペース整備 ・陰圧装置付きテント購入 ・ベッドサイドモニター購入 ・ストレッチャー購入 ・デジタルX装置システム導入 ・新型コロナ対応遺伝子検査機器購入 ・感染症棟改修 （医療用酸素供給用中央配管敷設）	圏域内で逸早く有熱者外来を設置し、発熱症状等を有する患者を積極的に受け入れることができた。 また、入院患者を受け入れる体制も整備でき、新型コロナウイルス感染症に対応した医療提供体制を構築できたことで、感染者及び感染の不安を抱く患者にも、安心安全な医療提供体制を整備できた。 有熱者外来実績 2020年 2月から2020年 3月 143人 2020年 4月から2021年 3月 1,519人 2021年 4月から2022年 3月 2,143人 2022年 4月から2022年12月 4,935人	市立病院
23	地域経済活性化支援事業（有田市地域活性化商品券事業）	①新型コロナウイルス感染症の影響により停滞している経済活動の活性化を図るため、地域活性化商品券（プレミアム商品券）を販売。 市民全員が購入可能で、1人につき5千円で1万円分利用できる。 ②交付金・印刷費・郵便料・手数料・委託料・賃借料	R2.8.11	R3.3.31	141,389,218	140,884,000	参加店舗 276件 交付金額 119,722,000円 事務費（印刷費・郵便料・手数料・委託料・賃借料） 21,667,218円	商品券の販売実績は89%。換金率は99.46%と多くの方にご利用いただき、市内経済活動の活性化及び市民の生活安定に寄与した。	産業振興課
24	有田市食事支援給付券事業（全市民）（有田市飲食業応援給付券事業）	①新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた行動自粛などにより、経営に影響を受けている市内飲食事業者を応援するとともに、市民の楽しい食生活を支援するため、登録店舗で使用できる食事券（1人5千円分）を全市民に無料配布する。 ②交付金・報酬・共済費・交通費・消耗品費・印刷費・郵便料・手数料・委託費	R2.7.29	R3.2.15	139,179,548	138,335,000	参加店舗 68件 フードチケット（交付金） 130,908,500円 事務費（報酬・共済費・交通費・消耗品費・印刷費・郵便料・手数料・委託費） 8,271,048円	給付券事業第2弾となる有田市飲食業応援給付券事業は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた行動自粛などにより、経営に影響を受けている市内飲食事業者を応援するとともに、市民の楽しい食生活を支援するため、登録店舗で使用できる食事券（1人5千円分）を全市民に無料配布した。 利用率は95.62%と多くの方にご利用いただき、市内飲食店の活性化及び市民の生活応援に寄与した。	産業振興課

25	住宅リフォーム工事費補助金	①住宅リフォーム補助金を拡充することで、新型コロナウイルス感染症の影響により経営に影響を受けている市内建築業者を支援する。 ②補助金	R2.9.1	R3.3.9	3,995,000	3,995,000	補助対象者：23名 補助金額：3,995千円 【内訳】 200千円×17件 182千円×1件 105千円×1件 102千円×1件 80千円×1件 65千円×1件 61千円×1件	・リフォームを行う際の工事費を一部補助することで経済的支援を行った。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により経営に影響を受けている市内建築業者を支援することができた。 補助対象者と市内業者との契約金額：59,613千円	都市整備課
26	GIGAスクール端末導入事業	①国が進めるGIGAスクール構想に係る市内小中学校のICT環境の整備 ②生徒用タブレット端末1人1台整備に係る経費として、消耗品費・備品購入費	R2.8.25	R3.3.29	15,370,000	15,370,000	各教室にアクセスポイントを設置するなど、校内のインターネット環境を整備した。 児童生徒用タブレット端末を1人1台整備するため、1291台購入した。	タブレットを活用して授業を行うことができるようになり、ICT教育の推進に寄与した。	教育総務課
27	在宅勤務導入支援事業	①感染拡大や災害発生時に備え、業務継続を円滑に実施するため、庁内LANネットワーク環境を構築（試行） ②使用料、備品購入費	R2.7.30	R3.3.31	3,949,000	3,949,000	リモートワーク用端末10台の整備	リモートワーク用端末を10台整備したことにより、新型コロナウイルス感染症等により職員が自宅待機となった場合においても自宅業務を遂行できる環境を整えることができた。 実際には、感染や濃厚接触により自宅に待機せざるを得ない職員のリモートワークにもつながり、制限がある中でも業務継続に寄与している。	総務課
28	上水道事業会計繰出・補助	①感染拡大に伴い、自宅待機等による家計の負担増や収入減となる事業所等への支援のため、水道料金を一定期間減免し、支援する ②上水道事業会計へ繰り出した3カ月水道料減免に係る費用	R2.6.8	R2.11.26	131,655,260	131,655,000	水道料金 3か月を減免 (官公庁用除く) R2.5月分 12,603件 R2.6月分 12,645件 R2.7月分 12,686件 減免額合計 130,500千円	新型コロナウイルス感染症の影響により各家庭や事業者が経済的な影響を受けた状況を踏まえ、水道料金を減免したことにより経済的負担を軽減し、経済活動の支援に寄与した。	水道事務所

●「No.」及び「事業名」については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金に係る実施計画から引用しており、交付金充当を取り止めた事業No.は欠番となっています。

No.	事業名	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容	事業始期	事業終期	決算額	交付金充当額	事業実績	事業効果	担当課
6	感染症対策事業	①公共施設や学校関連施設等公共空間の安全・安心を確保するため、感染防止につながる備品等を整備。 ②消耗品費・修繕料・備品購入費	R2.6.23	R4.3.25	20,922,346	20,922,000	<p>【防災安全課】 消毒液(500ml)・フェイスガード・使い捨て手袋等 非接触型体温計 28本 扇風機 14台</p> <p>【福祉課】 市内全保育施設に網戸を設置 2保育施設に抗菌塗料を購入</p> <p>【保険センター】 感染症予防対策物品として、アクリルスクリーンや消毒用エタノールを購入した。</p> <p>【教育総務課】 学校における感染症対策として、消毒液、手洗い洗剤、抗原検査キット、保護服、ビニール手袋等を購入した。</p> <p>【生涯学習課】 (体温計) 16台 (網戸) 137枚 箕島公民館31枚・窓原公民館32枚 津町公民館17枚・糸我公民館31枚 初島公民館9枚・保田公民館13枚 中央地区公民館4枚</p> <p>【市民会館】 サーモグラフィカメラ一式 478,500円 サーモグラフィカメラ制御用パソコン 66,000円 サーモグラフィカメラ設置台 21,890円 無線LANアクセスポイント 39,655円 低濃度オゾン発生装置11台 405,350円 次亜塩素酸空間除菌脱臭機 3,316,500円 サーモグラフィカメラ4台 210,800円 アナログミキサー、ケーブル 36,795円</p> <p>【総務課】 感染症対策として、アルコール消毒液、アクリルパーテーション、サマルカメラ等を購入し、設置した。</p> <p>【高齢介護課】 保温冷蔵庫(36箱仕様)2台購入</p>	<p>【防災安全課】 新型コロナウイルス感染下の災害対応に備え、予防対策消耗品・備品として整備し、避難所等を開設した際の感染防止態勢を整えることができた。</p> <p>【福祉課】 保育施設で過ごす子ども達の感染予防対策が図られた</p> <p>【保険センター】 感染症予防対策が図られた。</p> <p>【教育総務課】 生徒児童の感染症予防対策が図られた。</p> <p>【生涯学習課】 公民館来館者の体温をチェックし感染防止に繋がった。また、網戸を設置したことで、窓を開けて有効な換気を行い、感染防止に繋がった。</p> <p>【市民会館】 サーモグラフィカメラを設置することにより、市民会館で開催される各種イベントに参加する多数の入場者や関係者等の測定を迅速に行うことができるなど、感染症の感染拡大予防に寄与した。 無線LANアクセスポイントを設置した結果、会議室でリモート会議を開催する機会が増え、接触機会の縮減に効果を得られた。 低濃度オゾン発生装置を設置した結果、接触する箇所の細菌数が減少し、感染症対策に寄与した。 次亜塩素酸空間除菌脱臭機を市民会館及び図書館の各施設で稼働させることにより、感染症の拡大予防に寄与した。 サーモグラフィカメラを市民会館及び図書館の入口に設置することで、来館者の温度測定を促し、結果、感染症の拡大予防につながった。 アナログミキサーと既存の機器を合わせて使用することで、音響施設のない施設においても、ウェブ会議の開催ができるようになり、結果、接触機会の縮減に効果があった。</p> <p>【総務課】 市庁舎内における感染症対策に寄与した。</p> <p>【高齢介護課】 食事を一定時間適温に保つことができる保温冷蔵庫の購入により、入所者が各時間帯に分散して食事がとれる体制を整えることができ、新型コロナウイルス感染症対策に寄与した。</p>	<p>防災安全課 福祉課 保健センター 教育総務課 生涯学習課 市民会館 総務課 高齢介護課</p>
29	公共施設等サービス向上事業	①公共施設の予約システムの導入や施設紹介動画のネット上の掲載、また、SNSでの行政情報の発信をすることで、来館せずとも施設予約ができるなど、接触機会の減少及び利便性向上を図るとともに、行政情報の積極的な発信により、家に居ながらでも有田市の情報が伝わるよう、情報発信力を強化する。さらには、コロナ禍により、通常業務に加え、コロナ対策にも気を配るなど、負担が増大している保育士業務を支援するため、業務支援システムを導入し、保育士の負担軽減、また、保育サービスの向上を図る。 ②手数料・委託費・使用料・備品購入費	R3.3.5	R4.3.31	26,720,441	26,720,000	<p>【秘書広報課】 新型コロナウイルス感染症をはじめとした行政情報、イベント、防災に関する情報など、様々な情報を効率的、効果的かつ確実に市民に届けるとともに、市民サービスの向上及び業務の効率化等を図るため、LINE公式アカウント情報配信システムの構築運営を委託し、配信した。</p> <p>【福祉課】 市内6保育所のICT化のための設備機器やタブレット端末等の導入を行った。</p> <p>【保健センター】 新型コロナウイルス感染症の影響により外出自粛が続くなか、市民の健康不安に対応するため、楽しみながら健康づくりができる環境を整えた。健康ポイントアプリ登録者数/430人</p> <p>【市民会館】 公共施設予約管理システム導入費用 4,840,000円、運用費用316,800円、ストリートビューデータ作成業務770,000円</p>	<p>【秘書広報課】 LINE公式アカウント友だち登録者数 6,673人 LINE公式アカウントリッチメニュー利用件数 11,623人 新型コロナワクチン接種予約利用者数 延 6,594人</p> <p>【福祉課】 コロナ禍により、通常業務に加え感染対策業務で負担が増大している保育士の業務支援が図られ、加えて保護者とのやり取りをデジタルで行うことで、物のやりとりを削減し感染予防につなげることができた。</p> <p>【保健センター】 健康ポイントアプリを活用し、インセンティブを付与することでコロナ禍でも、楽しみながらウォーキング等に取り組みことができ、市民の健康づくりに寄与することができた。</p> <p>【市民会館】 公共施設予約管理システムを導入した結果、これまで窓口で貸館の手続きをしていたことが、ネットでできることになり、利用者の利便性向上が図られ、接触機会の縮減にも寄与した。 市民会館紀文ホールの特典ビューを公開することにより、来館せずとも施設の利用状況が確認できることから、利用者や来館者に対する利便性の向上に加え、下見等の削減により、接触機会を減らすことができた。</p>	<p>秘書広報課 福祉課 保健センター 市民会館</p>
30	有田市食事業支援給付券事業第3弾(全市民)(有田市飲食業応援給付券事業)	①新型コロナウイルス感染症により外食を控える雰囲気や蔓延し、閉塞感に苛まれていた飲食業界を活性化させるため、フードチケット事業を展開する。また、安心して外食できるよう、参画事業所には感染予防対策の実施や徹底を条件化する。 ②フードチケット・報酬・共済費・交通費・消耗品費・印刷費・郵便料・委託費	R3.3.8	R4.3.31	139,601,630	46,046,000	<p>参加店舗 91件 フードチケット(交付金) 使用率96.21% 130,482,500千円 事務費(報酬・共済費・交通費・消耗品費・印刷費・郵便料・委託費) 9,119,130円</p>	<p>給付券事業第3弾となる有田市飲食業応援給付券事業は有田市の地域の飲食に関わる事業所が一体となって、有田市の安心・安全な食生活の確保を目的とし、地域での消費をより活性化することを目的として、登録店舗で使用できる食事券(1人5千円分)を全市民に無料配布した。 利用率は96.21%と多くの方にご利用いただき、市内飲食店の活性化及び市民の生活応援に寄与した。</p>	<p>産業振興課</p>

●「No.」及び「事業名」については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金に係る実施計画から引用しています。